

もがみまち

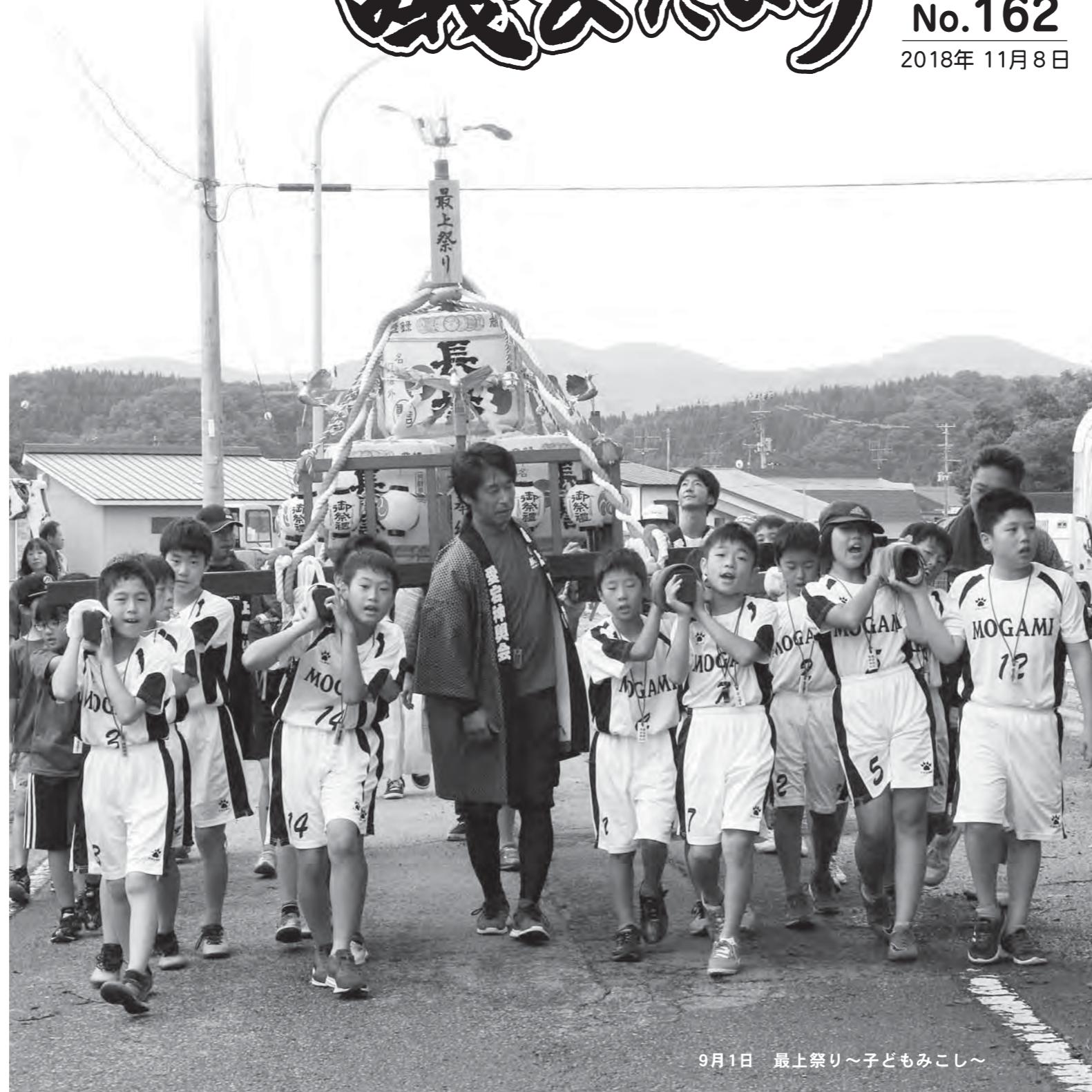
# 議会だより

9月

定例議会

No.162

2018年 11月 8日



9月1日 最上祭り～子どもみこし～

- 8月豪雨災害…2～3
- 一般・特別会計決算・補正予算・議案審議…4～11
- 町政を問う～4議員が一般質問…12～15
- 総務文教常任委員会報告…16
- 常任委員会 先進地視察…17
- おらだの声…18

# 8月豪雨2度

# 「避難指示」すぐ復旧を！



▲吊り橋が流されたヤナ茶屋付近（9月1日）



▲流木で埋め尽くされた大堀の白山橋（8月31日）



▲国土交通省への要望（9月7日）

収穫前に対応  
収穫前の復旧対策は、  
※多目的事業に取り組む  
組織や集落と連携し、作  
業に係る経費、機械のリ  
ース料、原材料費は町で  
補助します。  
規模の大きな灾害は国  
に早期に復旧できるよう  
進めます。

## ※多目的機能支払交付金とは？

水路・農道等の農業を支える共用の設備を維持管理  
するための地域の共同作業に支払われる交付金

8月5～6日は総雨量309ミリ、31～翌月1日は総雨量223ミリ（瀬見観測所）を記録し、被害箇所400箇所以上、被害総額8億円を超える大災害に見舞われました（9月21日現在）。

秋の収穫までに何としても復旧させなければならない場所もあり又、河川、道路についても町民の生活に直結する箇所であり早急な復旧に取り組むべく、国・県に議会として改めて要望書を提出しました。

# 観測史上最大の雨量



護岸が崩れた絹出川（9月1日）▶

## 町税は「増収」でも

## 「借入金」も増える!!

支出決算総額 93億5,498万円

一般会計支出 64億9,260万円

特別会計支出 28億6,238万円

## 町民サービスに

一人あたり	175,713円
議会費	8,379万円
総務費	14億5,282万円

## 豊かな暮らしに

一人あたり	76,614円
農林水産費	3億429万円
商工費	3億6,570万円

## 安全な暮らしに

一人あたり	114,779円
労働費	685万円
土木費	7億7,867万円
消防費	2億1,430万円
災害復旧費	2万円
諸支出金	390万円

## 生きがいと健康づくりに

一人あたり	224,146円
民生費	10億8,482万円
衛生費	8億7,534万円

## 人材育成と地域づくりに

一人あたり	85,581円
教育費	7億4,841万円

## 借入金返済に

一人あたり	65,602円
公債費	5億7,369万円

※町の人口 H30.3.31日現在「8,745人」  
(住基台帳人口毎月調査票より)



▲広域消防署を訪れた 保育所の子ども達

## 特別会計の支出額

国民健康保険会計	12億3,375万円
後期高齢者医療会計	1億182万円
介護保険会計	11億9,742万円
瀬見温泉管理会計	1,375万円
農業集落排水会計	2,002万円
下水道会計	1億9,607万円
浄化槽会計	9,955万円

※水道・病院・介護老人保健施設会計は企業会計のため、  
含んでいません。

## 町債(借入金)残高一覧 一般会計

22年度	48億7,472万円
23年度	48億7,610万円
24年度	50億4,359万円
25年度	54億1,327万円
26年度	56億 195万円
27年度	57億9,797万円
28年度	61億4,016万円
29年度	62億4,830万円

9月定例議会は、11日から21日までの11日間の日程で行われました。付託された議案、全件を慎重審議しました。

また、平成29年度一般会計と特別会計あわせて11議案は決算特別委員会に付託され、活発な質疑応答を経て慎重に審査した結果、認定されました。

一般質問には4名が登壇し、町の施策と政策をただしました。

## 一般会計決算の認定に討論※

今決算特別委員会での質疑・答弁に對し、大きな不安と不満を抱きました。事業執行にどれだけの「信念と緊張感」「集中と選択」を持って執行されたのか、疑問を抱きました。答弁に誤解を招くものがあつたり、瑕疵の答弁があつた他、10ヶ月に渡る除算があつたにもかかわらず、議会に何の報告もなく、今決算特別委員会で初めて知った経緯もありまさしく議会軽視に他人りません。この様な事は遺憾であり、決して許されるべきものではない事から反対をするものである。

議会軽視という点をふまえれば考慮される所はございますが、今決算特別委員会の中で一番時間を費やした若者定住環境モデルタウンの審議がありました。町の一大事業であり人口減少の中、定住対策として進めなければならぬ重要事業であります。認定第一号平成29年度最上町一般会計決算委員会中で協議した事は、これから事業の見直しを含め来年度の予算に生かしていただきたい。これが町の発展につながるものであつたと賛成いたします。

反対

佐澤 浩 議員

賛成

二戸 守 議員

※「討論」とは？ P17 教えて議会にて詳しく説明

# 平成29年度 決算特別委員会

決算特別委員長  
渡邊 英俊

一般会計決算から10の特別会計決算合わせて11件の決算認定案件を9月13日から4日にわたり審査しました。

一般会計歳入総額67億1480万円(対前年比1.25%減)となり、8億5134万円減少。歳出総額64億9260万円(対前年比10.50%減)となり、7億6205万円減少となりました。前年度の決算額より大きく減少し、大変厳しい行財政運営を執行されている状況にありますが、各事業の結果について執行部もしっかり検証すべきであり、今後の事業運営は根本的な見直しの必要性を議論されました。審査の結果は、一般会計は賛成多数、特別会計は全員賛成で認定すべきものと致しました。

## 基金の状況

**問** 当初5億7200万円が基金から繰り入れされ補正により更に1400万円が繰り入れられました。今回のような突発的な災害が発生した際の財源が懸念される。身の丈にあつた予算編成をすべきではないか?

**答** 8月の豪雨災害復旧には更に財政調整基金を取りくずさざるを得ないものと考えられます。基金残高も減少することから31年度には厳しい予算編成となるものと予想しておりますが、成すべきところを見極め取り組んで参ります。

## 金残高も減少することとか

31年度には厳しい予算編成となるものと予想しておりますが、成すべきところを見極め取り組んで参ります。

**問** 当初5億7200万円が基金から繰り入れされ補正により更に1400万円が繰り入れられました。今回のような突発的な災害が発生した際の財源が懸念される。身の丈にあつた予算編成をすべきではないか?

**答** 8月の豪雨災害復旧には更に財政調整基金を取りくずさざるを得ないものと考えられます。基金残高も減少することとか

## 年まで継続という具体的な返答は出来ないわけですが、もう少し継続していきたいと考えています。

まだ現時点では、何

**問** この事業は今後も続けるべきですか?

**答** 1000万円を超える多額の財政支出になりますが、集落自治活性化に貢献している事業だと捉え現時点では、何

年まで継続という具体的な返答は出来ないわけですが、もう少し継続していきたいと考えています。

まだ現時点では、何

**問** 公民館単位で交付するのではなく、町であれば区毎に交付するべきでは?

**答** 不公平感が無いように事業内容のブラッシュアップを行い、財政全体を考えた上で取り組んでいきます。

まだ現時点では、何

年まで継続という具体的な返答は出来ないわけですが、もう少し継続していきたいと考えています。

## 現在、13戸に熱供給を行っています。供給する温度が低く住民の方に迷惑をおかけしましたが、個別に利用状況を確認しながら対応し、現在は不具合がない状況です。

また、チップの含水量が多いためにペレットを使つた結果の増額です。具合がない状況です。

**答** 地域おこし協力隊の活動車両費が196万円とあるが、2名の協力隊で使用しているリース代なのか?

まだ現時点では、何

年まで継続という具体的な返答は出来ないわけですが、もう少し継続していきたいと考えています。

## 若者定住環境モデルタウン

**問** 若者定住環境モデルタウン内の熱供給温度が不安定という話を聞いたが?また、268万円の燃料費の補正について

**答** 現在、13戸に熱供給を行っています。供給する温度が低く住民の方に迷惑をおかけしましたが、個別に利用状況を確認しながら対応し、現在は不具合がない状況です。

また、チップの含水量が多いためにペレットを使つた結果の増額です。

まだ現時点では、何

年まで継続という具体的な返答は出来ないわけですが、もう少し継続していきたいと考えています。



▲あたごこども園に隣接したすこやか広場

**看護師確保**

**問** 看護師を確保するには高校や専門学校に訪問して、もっとPRすべきではないか?

**答** 他市町村の学生に見学してもらったり、職場体験をしてもらい我が町の良さや魅力を感じてもうな突發的な災害が発生した際の財源が懸念される。身の丈にあつた予算編成をすべきではないか?

**出生数**

**問** 29年の出生数は何人なか。又、30年度はどうか?

**答** 29年は46人の出生数で、30年1月から9月までに30人の出生がありました。

**問** 雪国の生活にやさしいまちづくり事業、今後どう充実させていくのか?

**答** 除雪支援に取り組んでくれる方と利用する方とがマッチングできる体制の充実を図ります。

**高齢者の除雪支援**

**問** 雪国の生活にやさしいまちづくり事業、今後どう充実させていくのか?

**答** 除雪支援に取り組んでくれる方と利用する方とがマッチングできる体制の充実を図ります。

**児童遊園**

**問** 児童遊園を屋外だけでなく屋内での遊具をも考えていくべきではないか?

**答** 年間を通して遊べるよう、空き校舎等も含め考えていきたい。

**企業の課題**

**問** 企業訪問した中での課題は?

**豪雨災害**

**問** 暴風豪雨被災施設等緊急支援資金利子は、今回の災害においても利子補給制度が該当しないのか?

**答** 29年度は39名の方から申請があり、農業や建設業等で必要な資格を取得しています。

**人材育成支援事業**

**問** 人材育成支援事業補助金はどうなったのか?

**答** 事業はある人が集まらない現状に、高校生のニーズ調査等を行いながら、地元に残りたい方々へ企業とマッチングできるよう、町が調整を図っています。

**水田畠地化事業**

**問** 水田畠地化基盤強化対策事業へ、更に町の支援は出来ないものか?

**答** 当該利子補給制度については該当しませんが、今般の豪雨災害については、今後、県と町による利子補給制度が創設される予定です。



**答** 昨年度は隊員4名を主体に計5名に対応できる車両をリースにて用意していました。地域おこし協力隊の費用については、国特別交付税の対応を受けますが、交付そのものは活動人数に左右されるものです。過大な対応とならぬよう、今年度ににおいては、人数に相応する対応に心がけて参ります。

主に計5名に対応できる車両をリースにて用意していました。地域おこし協力隊の費用については、国特別交付税の対応を受けますが、交付そのものは活動人数に左右されるものです。過大な対応とならぬよう、今年度においては、人数に相応する対応に心がけて参ります。

**問** 前森牧場をこれからどのように運営していくのか？

**答** 採草事業は町の畜産振興と畜産農家の経営安定に寄与しております。放牧頭数も減ってきて厳しい状況にあります。早速、前森牧場検討委員会を立ち上げ関係者から意見を聞き、今後の前森牧場の在り方をまとめていきたいと考えています。



▲あたごこども園  
0歳児

現在40数名の有資格者がおり、正職員と臨時職員はほぼ同数ですが、必要な保育士を確保する為に、通年募集も検討しています。

となります。職員は他の施設へ移ることになります。増えている未満児の受け入れでは、0歳児3人に対して1人の有資格者が必要であり、その確保が重要です。

**問** 未満児を受け入れ体制

**答** あかくら、みつわ両幼稚園は、今年度で閉園

**問** 未満児を受け入れる時に職員数は足りるのか？

**答** あかくら、みつわ両幼稚園は、今年度で閉園

## Q & A の月定例議会

# 議案審議

**問** 全国的に小学生の熱中症が問題になつており、中学校にあつて小学校に無い現状です。エアコンは必要でないのか？

**答** 全国では熱中症による死亡事故も発生しており、近年の異常気象で高温もあり、エアコンの必要性を十分考えて行きたいと思います。

**赤倉温泉スキー場営業収支**

**問** 赤倉温泉スキー場の営業収支の結果と問題課題はなかつたのか？又、ゲレンデ工事の内容は？

**答** 主な収入がリフト使用料のみであることから収入を支出が上回っています。施設の老朽化も課題であるが、営業力を強化する事により町内への

**問** 図書室の活用と読育についてどう考えているか？

**答** 各学校の図書室にコーディネーターが配置されてから図書の貸し出しが大きく伸び、読育が進んでいると思っています。

**問** 学校図書の活用

**答** 各学校の図書室にコーディネーターが配置されてから図書の貸し出しが大きく伸び、読育が進んでいると思っています。

**問** 生活道路整備事業の状況は？

**答** 例年6件を整備できるように予算計上しています。平成29年度も6件を実施しましたが、要望のある残り3件は翌年度に持ち越す考えです。

**問** 電子カルテの効果

**答** 現在、未満児の受け入れなど、施設の有効的な活用を検討中です。

**問** 空き校舎を活用して1箇所で規模拡大ができるのか？

**答** 空き校舎の活用についても考えて行きたい。



▲向町小 授業の様子

ゲレンデ内工事予算は流出した土砂の排出整備980万円となりました。

**答** 近辺の温泉施設を参考にさせていただき、1回サービスで11回券で販売したいと思っています。ただきたいと考えております。



▲赤倉ゆけむり館の産直コーナー

## 人事案件

### ◇人権擁護委員

下山 繁雄 氏（若宮）

任期：平成31年1月1日  
～平成33年12月31日まで

**答** 医療機関の減少をも含め色々な面を考慮しながら、二つの方向性について考え進むべきと思っています。

**問** 町民の健康を守ついくためにも人口が6千人、5千人台の時を考えながら将来の町の病院のあるべき姿を検討していくべきと思うが？



▲融雪工事が予定されている中央公民館北側

**答** 降雪をセンサーで感知し地下水を屋根にある融雪シートから出し溶かす工法です。通学路になつていてる道路に雪を落とします。

**問** 中央公民館屋根融雪工事内容、今年の降雪までに間に合うのか？

**答** 降雪をセンサーで感知し地下水を屋根にある融雪シートから出し溶かす工法です。通学路にも

**問** 天然記念物管理委託料93万円の内容は？

とさない様に降雪前に工事を終わらせたいと考えています。

**答** 東法田の大アカマツに枝枯れの現象が見られ、松枯れ病を心配しましたが、調査の結果、感染していました。しかし、病気の原因となる虫が卵を産んでしまう恐れがある為、枯れた枝を早急に伐採し処理する為の費用となります。

**問** 災害時対応基金の考え方

管の漏水は即座に数値として表れないでの、各地区からの通報や道路パトロールで発見次第、復旧対応を行っています。

**答** 現在、財政調整基金という形で、一般財源と基金があります。それ以外の基金という事で目的ですが、災害に備えてとう 부분が該当するのか、調査し検討していきます。

**問** 漏水した場合、管理システムで全てがすぐに対応できるのか？

**答** 8月5／6日豪雨災害6293万円補正

**問** 豪雨災害によるソバの被害は？

**答** 8月5／6日豪雨災害6293万円補正

3.5割が冠水して105分の被害が発生し、約1千万円の被害額になりました。



▲通行止め 国道47号

# 平成30年度 補正予算

## 一般会計

1億5,299万円

## 特別会計

4,241万円

(企業会計も含む)

### 庁舎ボイラーメンテナンス

**問** 庁舎ボイラーメンテナンスで、府舎前にある地下ボイラーが浸水したための修繕なのが又、今後どのようにするのか？

**答** 排水ポンプの能力を上回る集中豪雨によりボイラ室が浸水し故障したポンプの修繕であり、今後雨水流入防止策を検討してまいります。

### 赤倉ゆけむり館運営費増額

**問** 赤倉ゆけむり館運営費増額業展開を進めています。

**答** 住民の合意が100%でないと有利に進められないでの、早急に地域で説明会を開きます。

### 新しくはいる企業について施設設備は整備し貸し出しを行い、使用料については半額の減免を考えています。

**問** ウエルネスプラザ運営費の修繕費243万円の内容は？

**答** 健康センター内にあるトイレ、水回りの排水料が多く40万円もかかります。また、ポンプの電気料が10年ではなく15年の貸借が0に近づく。貸借では農地中間管理機構を通せば0に近づく。貸借が10年ではなく15年の貸借となります。

### 水田の基盤整備をどう進めていくのか？

**問** 水田の基盤整備をどう進めていくのか？

**答** 住民の合意が100%でないと有利に進められないでの、早急に地域で説明会を開きます。

### 赤倉ゆけむり館運営費増額

**問** 赤倉ゆけむり館運営費増額業展開を進めています。

**答** 住民の合意が100%でないと有利に進められないでの、早急に地域で説明会を開きます。

### 新しくはいる企業について施設設備は整備し貸し出しを行い、使用料については半額の減免を考えています。

**問** ウエルネスプラザ運営費の修繕費243万円の内容は？

**答** 健康センター内にあるトイレ、水回りの排水料が多く40万円もかかります。また、ポンプの電気料が10年ではなく15年の貸借が0に近づく。貸借では農地中間管理機構を通せば0に近づく。貸借が10年ではなく15年の貸借となります。



# 町政を問う

4 議員が一般質問

## “豪雨災害を問う”



尾形勝雄議員

**町長答弁** 全力で早期復旧してまいります

**答弁** 今後、農林関係の復旧対策につきましては、今行うべき緊急対策と収穫後に行う復旧対策を区別し、多面的事業に取り組む組織や集落と連携を取りながら、組織的に効率よく、漏れなく復旧作業を進めてま

**質問** 今回、8月5日及び31日の豪雨により計り知れない被災箇所が発生したが、秋の収穫に向けて早急に復旧すべきと思うがいかがか。又、河川及び道路関係（国・県・町）の復旧対策を問う。

## 多難な事象に立ち向かう職員像は



**町長答弁** 職員の人材育成に力を傾注する決意

**質問** 目指すべき役所の姿をどう描かれ、進められるのか。技術・能力・経験を十分に発揮できる働き方を実現し、勤務環境の整備に努めるべきと考えます。どんな時代にも職員は、常ならざるものとしての自治体の、補助機関として、町民のために役立つ仕事に従事する責務を背負っている。町に息吹を注ぎ、町民にとって、あたかも常ならざるもののように、実感させるのは法人機関の任務を現に遂行している首長、議会、

職員の才覚であると考えます。多難な事象に立ち向かう職員像についての考えは。

正に、近年において人口減少社会の到来などにより、かつて経験したことの無い現実が押し寄せています。併せて、住民意識も変化し、新たなサービスが求められたり、いろいろ要望される事項にも、広がりを感じています。

山積する課題に対峙するには、これまで以上に職員の資質の向上と、職員力の高さが求められます。業務ごとに、その方向を見定める技術、経験を、十二分に発揮し、課題解決をあきらめること

**答弁** 既に全戸配布しております「最上町防災本」により自分の住んでいる場所が土砂災害などの危険性があるか、

**質問** 「ハザードマップ（防災本）」による情報共有化について

とにかく、ある程度住民の方に広まつたように思います。しかしながら、配布して終わりでなく、今後防災本を有効に活用していくため、各集落などに積極的に足を運び、配出前講座を開催していく必要があります。



いります。その際の作業に係る経費、機械のリース料、原材料費については町で補助することを説明しております。又、今後の建設関係の対応としましては、公共土木施設災害復旧事業に申請し、早期に復旧してまいります。

公共土木施設災害復旧事業に該当しない箇所の応急工事については、今議会の補正予算に計上し、ながら、単独事業で対応なっています。

**質問** 「支障木」の危険性について

**答弁** 県では昨年度から五ヶ年計画で河川の管理上、集中的に対策を行う箇所を選定して実施する「河川流下能の伐採に取り組んでおります。また、県が伐採した支障木を住民に無償提供する「利活用型支障木伐採」を行い、河川支障木除去の促進と有効活用を図っております。



支障木による被害は生命

無いか、ある程度住民の方に広まつたように思います。しかししながら、やはり防ぐための仕組み作成の機能保持と災害未然に防ぐための仕組み作りながら支障木の伐採が急速に進むよう取り組んでまいります。

二つ目は、社会人として自己成長にむけた学習意欲の高い職員。三つ目は、前例にとらわれず、現状及び将来を見据えた政策を自発的に考へることができる職員。四つ目は、組織



▲職場風景

内でのチームワークを大切にしながら、住民と共に課題にチャレンジし続けております。今後とも、職員の人材育成に力を傾けて参る決意であります。

## 公共施設の利活用と維持管理は



**町長答弁** 最善の管理を検討

**質問** 過去に掲げた「田園空間博物館の創造」施策の成果は

**答弁** 平成23年度に掲げたスローガンは「人が元気、地域が元気、産業が元気」とキラリ輝く田園空間博物館の創造であり、町の設計図とも言える、総合計画の骨格でありました。平成27年、少子高齢化による人口減少動向に、今まさに対処して行かなければならぬという現実の下、国、地方挙げて掲げた「地方創生」に受け継がれ、当町においては「最上町総

**質問** 過去に掲げた「田園空間博物館の創造」施策の成果は

**答弁** 平成23年度に掲げたスローガンは「人が元気、地域が元気、産業が元気」とキラリ輝く田園空間博物館の創造であり、町の設計図とも言える、総合計画の骨格でありました。平成27年、少子高齢化による人口減少動向に、今まさに対処して行かなければならぬという現実の下、国、地方挙げて掲げた「地方創生」に受け継がれ、当

町においては「最上町総

## 災害に対する備えは大丈夫なのか

**町長答弁** 自主防災組織の充実と連携を図っていく



宮本 浩 議員

**質問** 今回、瀬見地区が一時孤立しました。最悪のケースも想定して非常食などの備蓄品は役場一箇所での集中管理ではなく分散して備えておくことが必要ではないか?

**答弁** 孤立した場合への対応として、集落の自主防災会で初期行動が出来るよう防災用品、備品を準備して頂いています。自主防災会は全集落での組織化には至っていませんので早期に全集合に広げていくよう努力して参ります。また町で

**質問** 町民への情報発信について、町のホームページで道路の水位計を白川や大横川、川水位計を白川や大横川、満沢川、絹出川。道路線名だけでなく地図表示したり、雨量情報や河川の水位情報、国道のライブカメラ映像などの情報をまとめて発信できないか?

**答弁** 国が発するJアラートの緊急放送や河川水位計、道路ライブカメラなどは、今置かれている状況を伝え、身の安全を確保してもらいたい。町のホームページでIPカメラなどは、今置かれている重要な情報源とあります。町のホームページに

**質問** 改めて自治協働のまちづくりを伺います

**答弁** 主役であるのは町民。また一方、町民には、NPO法人、ボランティア団体、企業であつたりと、多様な担い手が含まれ、更には、ふるさと応援団、大使や県、国との連携等々、各所各所にて活躍する個人団体が含まれ、力を合わせて働くことが、その事が協働の幅と質を保つて参るものと考えます。町民の「協働」と「参画」がまちづくりの基盤となり、職員の集落担当の協働隊としての役割も重要であり、官と民、民と民の連携も一層必要となると考えます。

**質問** 現在、町内の河川水位情報は、赤倉と瀬見のみ。道路のライブカメラは国道47号の堺田と瀬見に設置されていますが、河川水位計を白川や大横川、満沢川、絹出川。道路ライブカメラを国道最上鬼首線（花立峠から宮城に抜ける道路）、県道尾花沢最上線（なたぎり峠から尾花沢に抜ける道路）にも設置して、災害時の状況をいち早く把握できるよう県に設置要望の働きかけは考えていないのか?

**答弁** 近く山形河川国道事務所の所長ともお会いする機会もあります。



▲大堀保育所 運動会

理をすべく検討して参ります。



▶瀬見公民館(旧瀬見小)の避難所

の食糧備蓄に関しては、管理面から見ると分散というのは難しいので、一箇所での集中管理を行ながら、避難所へどうやつて運ぶことが最適なのかを考えていきます。

一ジという公的な情報源でも今伝えるべき事を正確に分かりやすく伝達していきます。

**質問** 現在、町内の河川水位情報は、赤倉と瀬見のみ。道路のライブカメラは国道47号の堺田と瀬見に設置されていますが、河川水位計を白川や大横川、満沢川、絹出川。道路ライブカメラを国道最上鬼首線（花立峠から宮城に抜ける道路）、県道尾花沢最上線（なたぎり峠から尾花沢に抜ける道路）にも設置して、災害時の状況をいち早く把握できるよう県に設置要望の働きかけは考えていないのか?

イブカメラについて話を聞いてみたいと思いますし、今後も県の方に要望していきたいと思います。

## 常任委員会先進地視察

### 産業厚生常任委員会

#### 「超高齢化社会に対応して避休施設の活用」について

##### 【目的】

本町の場合は、他地域より多様な介護サービスが現在するものの、施設志向待機者の増加が懸念され、高齢者が安心で安全な暮らし(コミュニティ・雪対策等)の環境整備に向けた地域資源の効果的な利活用を追求する必要があり調査するものです。



▲向町サロンの様子

### 総務文教常任委員会

#### 「空き校舎の利活用」について

##### 【目的】

人口減少による、児童生徒数が減少し、平成31年度は、東法田小学校が向町小学校に、2年後には富沢小学校と赤倉小学校も向町小学校に統合されます。統合により発生する空き校舎の有効的な利活用について調査をします。



▲東法田小学校

昨年の11月と今年6月に調査を行った。11月に訪れた富山県南砺市、朝日町の政策。南砺市では、地域おこし協力隊の活動、任期が終了してから、市に住んでもらいそれには住宅の提供・教育の充実・職場の確保・住みやすい環境を提供しつつ、「南砺で暮らしません課」を設置。



▲富山県・朝日町で 笹原町長（中央）と共に

朝日町では「住んでよし、訪れてよし、ふれ合ってよし」をモットーとして、東京の回帰支援センターを利用し、空き家は町の資源と位置づけ、地域おこし協力隊と連携し活性化を進行している。又、6月に調査を行った県内の大江町、西川町について。大江町ではJRCについて民間と行政



富山県・南砺市での調査の模様▶

## 教えて議会!?



議会のしくみ、用語を分かりやすく解説

### Q1 討論とは？

A 各議題の質疑が終わるたびに、討論に入ります。討論とは、議員個人が賛成又は反対の意見を表明することです。その目的は、自分の意見に反対する人及び賛否の意思を決めていない人を自分の意見に賛同させることになります。討論を行う場合は、「反対」「賛成」を明らかにして、その理由を明確に述べることが望まれます。

### Q2 討論は1人何回でも出来るのか？

A 討論1人1回の原則があり、反復討論は許されないものとしています。この原則は、2回以上の討論を重ねると理論を離れ、感情論に流れるおそれがあるからです。



## 請願について審査しました 平成30年9月17日 最上町議会定例会報告

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
「種子法廃止」に伴う万全の対策を求める請願	農民運動山形連合会 会長 小林茂樹 最北地方農民連 会長 二戸 正	尾形勝雄	産業厚生常任委員会	継続

※種子法とは…農家の生産、販売活動に大きな役割を果たしてきた法律で今回の改正で農家は特許料を払わなければ種子が使えないことが懸念される。

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	生活協同組合共立社 新庄生協 地域理事会議長 岸 昌子	宮本 浩	総務文教常任委員会	採択

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
町道法田中鵜杉線の生活路線並びに災害時迂回路線の機能維持のため、年間を通じた全線通行の確保について	最上町大字志茂722 横川区長 伊藤 章 他7名	大沼正視	産業厚生常任委員会	採択



大沼寿彦さん [上鶴杉]  
製造業

### 「人口減少社会 に向けて」

おらだの声

今、最上町が抱える問題はたくさんあると思います。その中でも、人口の減少は今後避けることが出来ない最も重要な課題になるはずです。人口が減るという問題に直面する中で、働く場所を少しでも提供するということが対策・歯止めに繋がるものではないかと考えております。安心して住める町・安心して子供を育てることが出来る町になつていけば人口減少に怯えることのない将来が待っているはず。

最後に私が町政に期待する事は、人口が減るのを止めるまちづくりではなく、人口が増え魅力あふれるまちづくりをお願いしたいです。

### 議会傍聴へのご案内

#### 次の定例会は

**12月 定例会です**

お問い合わせは議会事務局まで **043-2362**  
(直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴件数 のべ

**1332件** でした。

町のホームページからご覧になれます！



QRコード

■編集発行／山形県最上郡最上町議会広報編集委員会

最上町役場／山形県最上郡最上町大字向町644

<http://mogami.ty>

### 議会の主な動き

#### 7月4日～5日 議会広報編集委員会 視察

町村議会広報全国コンクールで上位になっている岩手県岩泉町議会では実践的な編集手法、株式会社データー東北新聞社では、誌面構成や写真の使い方などを学びました。



#### 8月22日 最上広域施設 視察

最上8市町村で管理している広域施設5箇所（リサイクルプラザもがみ、エコプラザもがみ、もがみクリーンセンター、最上広域消防本部、教育研究センター）の現場を見ながら現状や課題を聞くことが出来ました。



#### 9月2日 豪雨災害～県知事 現場視察対応

県知事が最上町に来町し、絹出川や東法田の被害状況、アスピラ農家の方から現場の声を直接届けることが出来ました。



※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

委員長	副委員長	委員長	議長	【発行責任者】	
宮本	橋本	佐澤	石原	二戸	菅
浩正	浩一	英勝	守	俊郎	

△8月5日・30日の2回の豪雨災害。今まで経験のない観測史上最大の降雨量で300ミリを超えて、昭和49年度に匹敵する大災害となりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この豪雨災害、幸いにも人的被害はなく安堵しているところですが、学ぶことも多くあつたと思います。避難指示が発令されました。が、知人・親戚の安否の確認、特に老人の方々で携帯電話を所持されていない方の確認の方法など情報の得難さを感じました。

編集後記